

令和8年度第1回学校運営協議会議事録

さいたま市立植水小・植水中学校

- 1 日時・場所 [日時] 令和8年6月10日(水) 10:00～11:30
[場所] 植水小学校 視聴覚室

- 2 参加者 略

3 次第

- (1) 小学校長あいさつ
- (2) 自己紹介
- (3) 会長及び副会長の選出
- (4) 議事
 - ・学校運営協議会について
 - ・本年度の学校運営に関する基本的な方針について
 - ・今年度の取組について
- (5) 意見交換
- (6) 中学校長あいさつ

4 議事概要

- (1) 小学校長あいさつ
- (2) 委員自己紹介
- (3) 会長・副会長選出 事務局提案 会長島田正次委員 副会長大野歩美委員 大野英紀委員
- (4) 議事の検討
 - ①各学校の学校運営に関する基本方針
 - ア 植水中学校
 - イ 植水小学校
 - ・両校の説明について、ご質問、ご意見をお願いします。
 - ・それでは、本年度の学校運営に関する基本的な方針について、ご承認いただけますでしょうか。
 - ・異議なし
 - ・承認ありがとうございました。
- (5) 熟議について
 - 議題:「あいさつあふれる地域を目指して、実際に動くための具体策検討」

グループ1＜主な意見＞

・学校でのあいさつというと登校時に正門でというイメージだが、幼稚園では日常的にあいさつやお礼の言葉がある。子どもたちの素直な気持ちに学ぶ交流ができないかと感じた。

グループ2＜主な意見＞

・あいさつデー、あいさつ週間を設定して地域全体で取り組めないか。
・学校、家庭であいさつの大切さを学び、地域で実践するという好循環ができればよいのではないか。

グループ3＜主な意見＞

・昨年度まで中学校PTAで時期を定めて正門前であいさつをしていた。今年度からサポーター制で約70人が登録している。保護者が自主的に声掛けをできるようにしていきたい。運動会のカメラマン等にも広げたい。
・働く保護者が増えているので、サポーター制度を活用するのも一つの案となる。
・地区内に二つの高校があるので、生徒会が連携してあいさつを広げたらどうか。
・学校周辺に限らず、水判土交差点など地域でも中間、期末テスト期間等の一斉に下校するときにはできるのでは。

グループ4＜主な意見＞

・一時期、知らない人にはあいさつをしないという風潮があったが、家庭や地域からもできるようにしたい。あいさつは敵ではない。
・子どもからだけでなく大人からもあいさつをして、地域であいさつの大切さを教えていくとよいのではないか。
・地域の体育振興会等の行事の時にあいさつ運動の呼びかけをしたらどうか。PTAでも公式LINEで周知する方法もある。
・地域で共通のチラシを作成して配布、周知したらどうか。

(6) 今後の方向性（上記意見を受けて事務局集約）

- ・登校時のあいさつ運動は常時活動として継続していく。子どもからも大人からもあいさつすることを根付かせたい。
- ・地域への周知では、同一の趣旨、内容で、自治会回覧や掲示、幼・小・中・高のお知らせ、PTA公式LINE、地域の各団体の行事での広報等を活用していく。
- ・あいさつデー・あいさつ週間を幼・小・中・高で実施に向けて検討する。その際、児童、生徒が参画できるようにしていきたい。

(7) 事務連絡

- ・次回開催予定〔日時〕 令和8年10月14日（水）10：00～11：30
〔場所〕 植水中学校 多目的室